

登屋の首

五島列島の地下構造を垣間見る

福江島北中部にある登屋の首と呼ばれる丘の多い半島は、何千年にもわたって、太平洋沖に押し寄せる台風や嵐に対して安全な場所を作り出してきました。半島の両側にはっきりと見える地層は、地殻変動の巨大な力を示し、五島列島の構造を例証しています。

五島層群（アジアから移動してきた五島列島のもととなった島々）は、ここで西側の玄武岩質溶岩流と交わる急勾配の丘です。半島の大きく垂直方向に傾いた層構造全体にわたって北東から南西に走る断層がはっきり見えます。半島が細くなっている場所付近の地層が露出した部分では、露出した堆積岩の中に、おそらくワニの祖先のものである足跡が見られます。